



明和病院だより



2015年11月号

(1) 医師から皆様へ 〈白内障について〉

◆白内障とは◆

水晶体が混濁する病気です。カメラでいうとレンズにあたる部分が混濁して視力低下が生じます。水晶体の濁り方はひとりひとり違うため症状も様々です。主な症状は「かすむ」というものです。また他にもまぶしくなる。二重、三重に見える。メガネが合わなくなるといった症状もあります。原因は様々ですが、一番多いのが加齢によるものでいわゆる一種の老化現象です。誰でも年をとるにつれ、水晶体は濁ってきます。しかし、糖尿病や眼のけが、薬の副作用によって白内障を起こす場合もあります。



◆治療は◆

日常生活に不自由ない程度であれば白内障があっても経過観察します。点眼薬もありますがこれは進行を遅らせるもので白内障を治すものではありません。進行して日常生活に不自由を感じるようであれば手術を行います。

◆どんな手術？◆

特別な場合を除いて、局所麻酔でおこないます。水晶体の薄い膜をくり抜き、中の濁りを機械で取り除きます。そして残った水晶体の薄い膜の中に人工の眼内レンズを挿入します。傷口は特別な場合を除いて3mm弱の小さなものです。

◆合併症◆

手術ですので100%安全確実ということはありません。眼の中にばい菌が繁殖して視力が下がるということもあります。確率は0.05%と低いですがゼロではありません。眼をこすったりするとばい菌が眼の中に入りやすくなります。

◆手術すれば必ず良くなる？◆

白内障のため視力が低下しているのはよくなります。しかし白内障以外の眼の病気(眼底出血、緑内障)があり視力低下しているのはよくなりません。また若返りの手術ではないので現在の白内障手術では乱視や老眼はなおりません。なので若いころと同じような見え方にはなりません。しかし他の眼の病気がな

ければ手術によって生活に不自由のない視力を得ることが出来ます。一層はつきり見ようと思えば手術後も遠く用、近く用の眼鏡が必要になります。

◆白内障かも？◆

自分ではこの症状は白内障かも思っているけど違う病気の場合だったという事もあります。気になったら自分で判断せずにまず眼科を受診することをおすすめします。

眼科部長 田中 久子

(2) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題 : 高齢者の腰痛について
- ・講 師 : リハビリテーション科 部長 有田 親史
- ・日 時 : 11月26日(木) 14:00~15:30
- ・場 所 : 南甲子園公民館
- ・問 合 せ : 南甲子園公民館 (Tel 0798-49-4741) ※無料(参加自由)



(3) 職員・パート募集のお知らせ



職員・パートの方を募集しています。一緒に明和病院で働きませんか？ 詳細はホームページをご覧くださいか、総務課(代表0798-47-1767)までお電話にてお問合せください。

- ◆職 員 : 看護師・助産師、言語聴覚士
- ◆パート : ヘルパー、看護助手、保育士

(4) 帯状疱疹後神経痛でお悩みの患者様へ

帯状疱疹後神経痛とは、帯状疱疹による皮疹が完全に治った後も、痛みや感覚の異常(ピリピリ、チクチク、ズキズキする痛み)が残る神経障害性疼痛のことです。

当院では帯状疱疹後神経痛に対する新しいお薬の治験を行っています。参加いただける方を募集しております。詳しくは下記へお問い合わせ下さい。

* ご相談窓口 *

窓 口 : 治験事務局 担当医 : 皮膚科 部長 黒川 一郎
電 話 : 0798-49-8336 (平日 9:00~17:00)



※ご参加いただくにはいくつか条件がございます。条件を満たさない場合はご参加いただけない場合がございます。予めご了承ください。

(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)